

## 多発性骨髄腫の検査・診断・治療

血液内科医長 太田 光



平素より患者様のご紹介等につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今回は血液内科から骨髄腫に関してご紹介させていただきます。

多発性骨髄腫 (multiple myeloma)は、B細胞の最終分化段階にある形質細胞がモノクローナルな増殖をきたす形質細胞腫瘍です。モノクローナルな細胞は単一の免疫グロブリンを産生することが特徴で、これをM蛋白と呼びます。本疾患は形質細胞腫瘍のびまん性骨髄浸潤のみならず、腫瘍から産生されるM蛋白や様々なサイトカイン・ケモカインの影響により、高カルシウム血症・腎障害・貧血・骨病変 (CRAB) などの多彩な臨床症状を呈します。診断基準がWHO血液腫瘍分類やInternational Myeloma Working Group (IMWG)から提唱されていますが、主たる要点としては、1:骨髄腫関連の臓器障害があること、2:M蛋白を認めること、3:骨髄穿刺でクローナルな形質細胞を認めることが挙げられます。

症状は、上述のCRABに関係するものに加え、易感染性や、二次性アミロイドーシスに伴う末梢神経障害など様々です。

特徴的な検査値は、高カルシウム血症・腎障害・貧血に加え、総蛋白/アルブミンの乖離をきたすことが知られています。ただし、病状の初期には軽度の貧血や腎障害にとどまることもあり、検査項目数の制限等から総蛋白とアルブミンを同時に検査していない場合には、存在に気付にくいことがあります。骨髄腫を鑑別診断として想起してからの診断アプローチは、以下の①-⑥ような検査を行います:①総蛋白 ②アルブミン ③免疫グロブリン (IgA, IgG, IgM) ④血清(および尿)蛋白分画 ⑤血清(および尿)免疫電気泳動 ⑥血清フリーライトチェーン検査

骨髄腫をM蛋白の型で分類するとIgG型(50%)とIgA型(20%)が高頻度であり、これらの症例では総蛋白/アルブミン比の乖離が目立つために気付かれやすい一方で、BJP型(15%)や非分泌型(1%)の骨髄腫では総蛋白およびアルブミン値は双方とも低下するため、鑑別に注意を要します。

血清フリーライトチェーン検査は骨髄腫が産生した過剰な免疫グロブリン軽鎖を高感度に測定することが可能であり、いずれの病型の骨髄腫においても $\kappa/\lambda$ 比の偏りを認めるため、診断に役立ちます。骨髄腫の類縁疾患として原発性アミロイドーシス (ALアミロイドーシス) やPOEMS症候群がありますが、これらの診断にもフリーライトチェーン検査は大きく寄与します。

骨髄腫が疑われた場合、骨髄穿刺を行い診断の確認を行います。

骨髄腫の治療は新規薬剤の承認により選択肢が多様化しており、現在では月1回程度の通院による外来化学療法が可能となっています。主に用いられるのはプロテアソーム阻害薬のボルテゾミブ、免疫調節薬のレナリドマイド、抗体医薬のダラツズマブ、デキサメタゾンなどであり、初発時はこれら

(裏面へ)

を組み合わせた DaraRd 療法などによる寛解導入を行い、病状が安定したら外来化学療法に移行しつつ、若年者では自家移植併用大量化学療法を計画します。

1990年代までは生存期間中央値3年程度の予後不良の疾患でしたが、上記のような治療でより長期の病勢コントロールが可能となっており、近年ではCAR-T細胞療法の選択肢も登場しています。原因のはっきりしない貧血＋腎障害などを呈する患者様がおられましたら、当院までご紹介頂ければ幸いです。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

## News & Information

### 花だより



こんにちは。三宿病院花壇係です。

3年前より院内の有志が集まり、明るく皆様をお迎えする花壇を目指して病院前の花壇整備を行っています。綺麗な状態を維持することは思っていた以上に大変で色々と失敗もありました。虫がつかず強いと言われるマリーゴールドを植えた時は、あっという間にヨトウムシに食べられてしまい、アジサイを梅雨の時期に植えたにもかかわらず、急に晴天続きになり全滅。がっかりしてしまいました。しかし、お花の手入れをしていると、通りかかれた患者様やご近所の方々が声をかけてくださいます。「きれいですね。気持ちが明るくなりますね」と言っていたと、とてもうれしくなります。

一番のお勧めは桜の時期です。上に満開の桜、足元は色とりどりの花が咲き三宿病院が一番きれいに見える季節です。また、これから冬に向かって寒さの中でも咲き続ける花を植えていく予定です。冬の時期パッと明るく咲くお花は元気を与えてくれます。

これからも四季折々の花を咲かせ皆様をお迎えしたいと思っています。(地域包括ケア病棟師長・高力むつみ)



### — 各お問い合わせ先 —

救急の場合

☎ 03-5724-6474 / 代表☎ 03-3711-5771 (24時間受付)

ご紹介による  
受診のご予約

医療連携室 地域医療連携係 直通  
☎ 03-5724-6474 (平日9:00~17:00)

地域包括ケア病棟  
へのご相談

医療連携室 医療相談係 直通  
☎ 03-3711-5912 (平日9:00~17:00)

国家公務員共済組合連合会 **三宿病院**

発行：病診連携強化対策委員会 編集部  
〒153-0051 東京都目黒区上目黒5丁目33番12号  
TEL：03-3711-5771 FAX：03-3792-1682

ホームページ：<http://www.mishuku.kkr.or.jp> e-mail：[renkeishitsu@mishuku.kkr.or.jp](mailto:renkeishitsu@mishuku.kkr.or.jp)